

2025年度第3四半期 決算説明資料



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

(東証プライム市場:1939)

2026年1月30日

- I 2025年度第3四半期実績
- II 2025年度業績予想修正
- III 配当予想修正(増配)
- IV 『中期経営指針2030』公表

- I 2025年度第3四半期実績**
- II 2025年度業績予想修正
- III 配当予想修正(増配)
- IV 『中期経営指針2030』公表

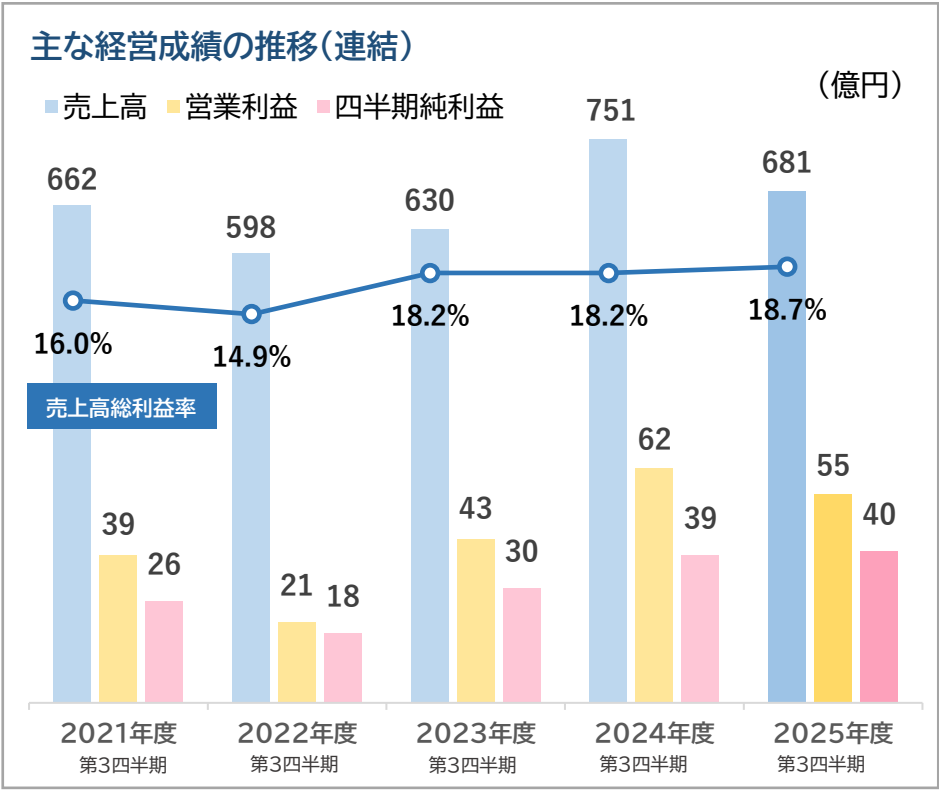
事業環境

- 設備投資に持ち直しの動きが続くなど受注環境は概ね良好
- 資機材価格の上昇や人手不足など、受注判断や工事原価、工事進捗への影響に適切に対処する必要があった

当社グループの業績

- 受注高は過去最高
- 前年同期の大型工事の反動減などにより減収、営業・経常減益となったが、利益は高水準を維持
 - ▶ 純利益は、前期のような特別損失の影響がなかったことから、増益

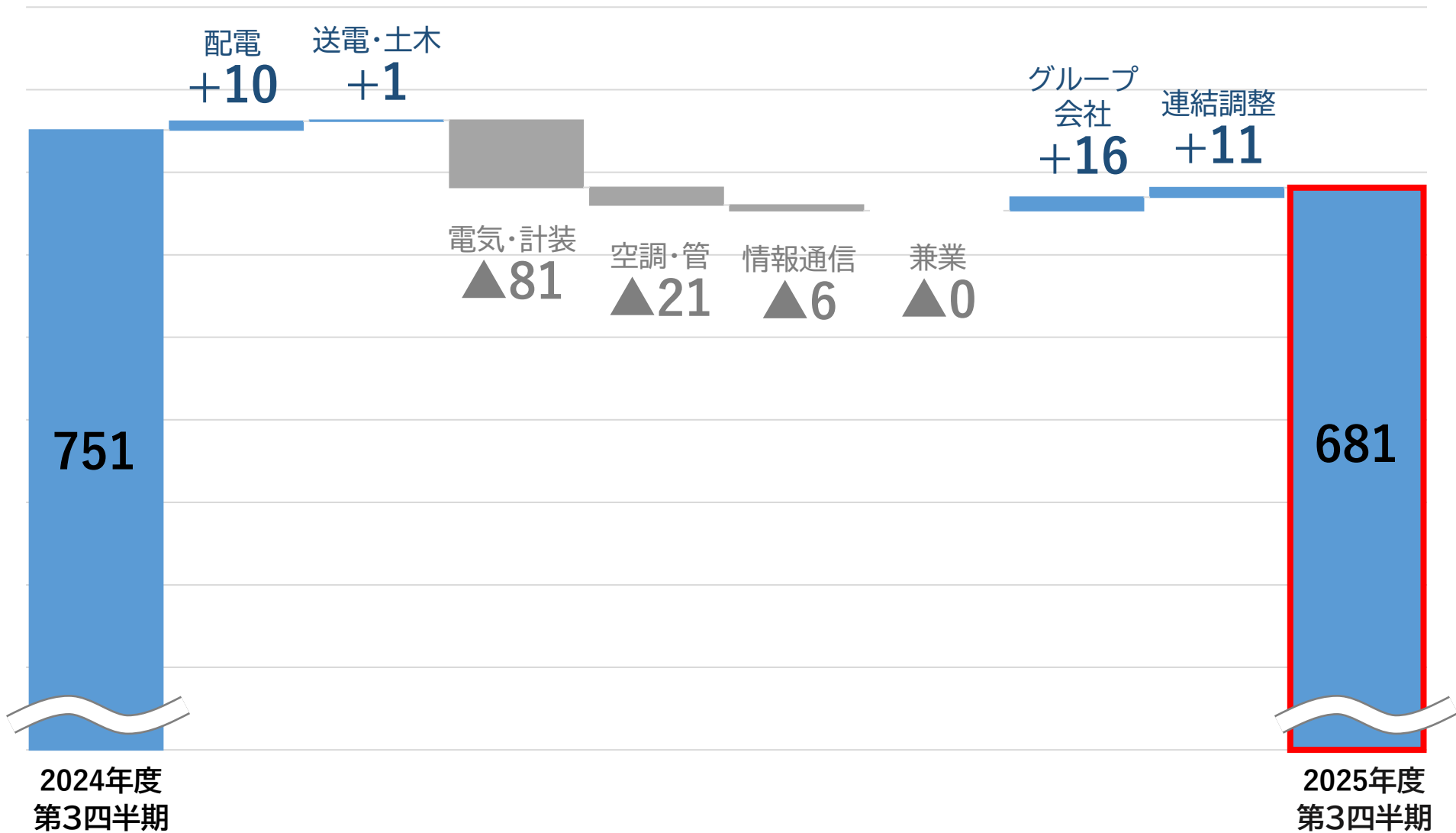
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年 同期比
(億円)			
受注高	763	805	+41
売上高	751	681	▲69
営業利益	62	55	▲6
経常利益	65	58	▲6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39	40	+1



売上高増減要因(連結)

I 2025年度第3四半期実績

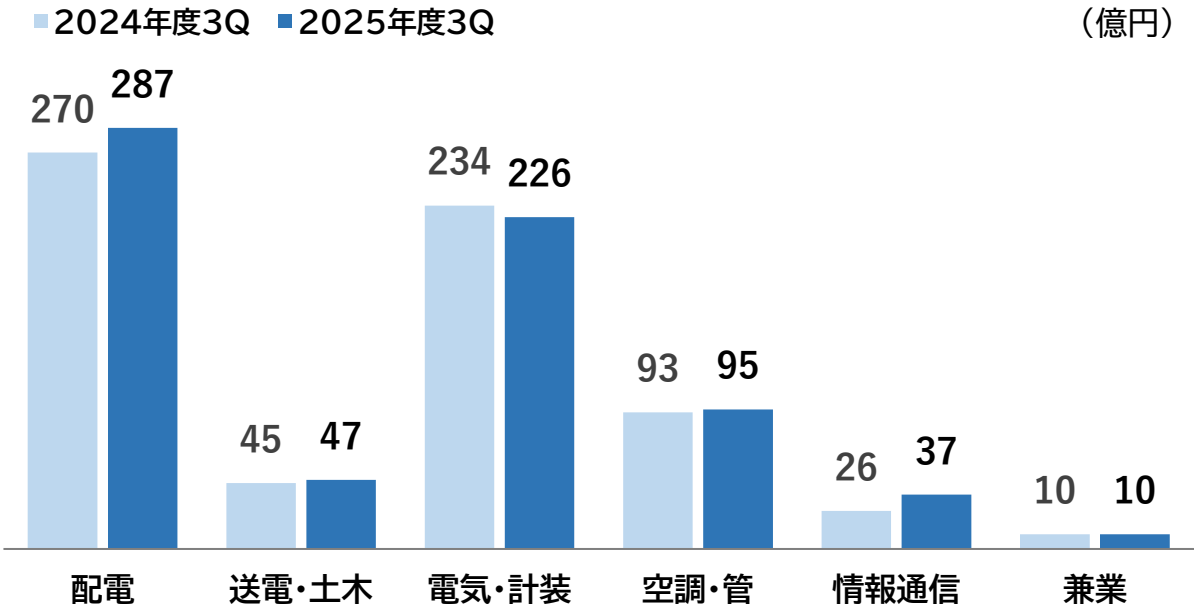
(億円)



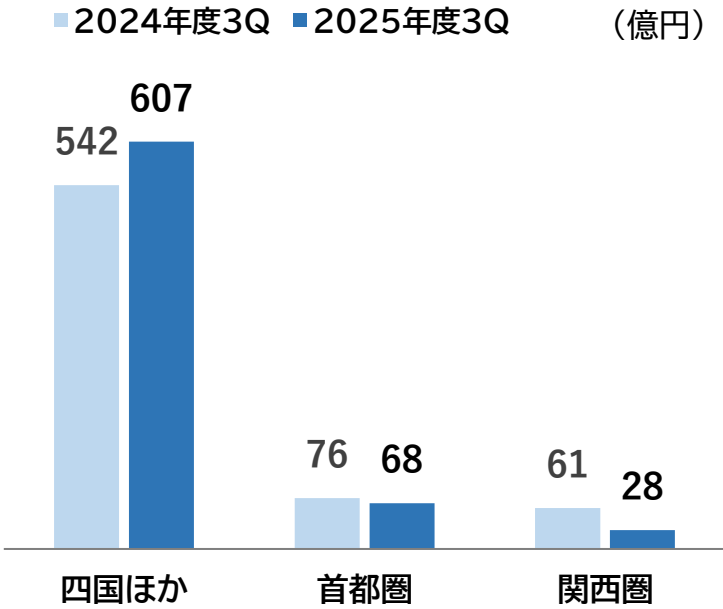
受注高は、704億円であり、前年同期比+23億円増
▶再開発案件や宿泊施設、教育施設などの大型工事受注が受注高を押し上げ、過去最高

(億円)	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
受注高	681	704	+23

工事種類別受注高



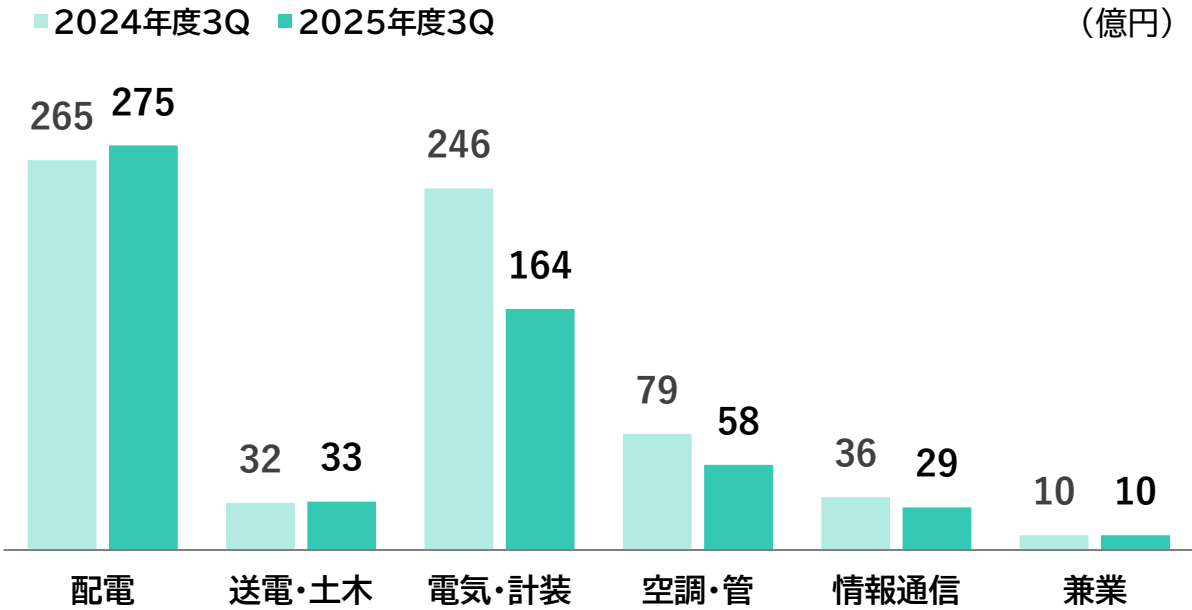
地域別受注高



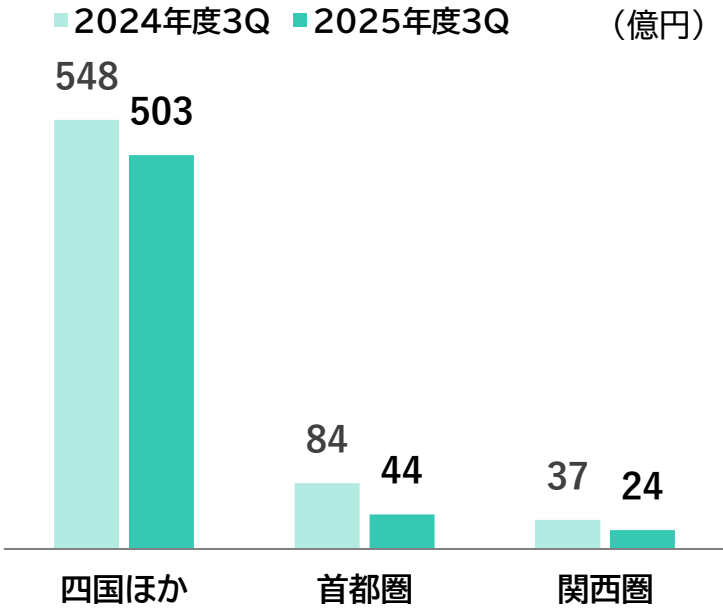
売上高は、572億円であり、前年同期比▲97億円減
▶前年同期の大型工事の反動減などの影響(前年同期には工期終盤の大型工事が売上に貢献したのに対し、今年度は新たに着工した大型工事が初期段階にあり、出来高が上がりにくい状況)

(億円)	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
売上高	669	572	▲97

工事種類別売上高



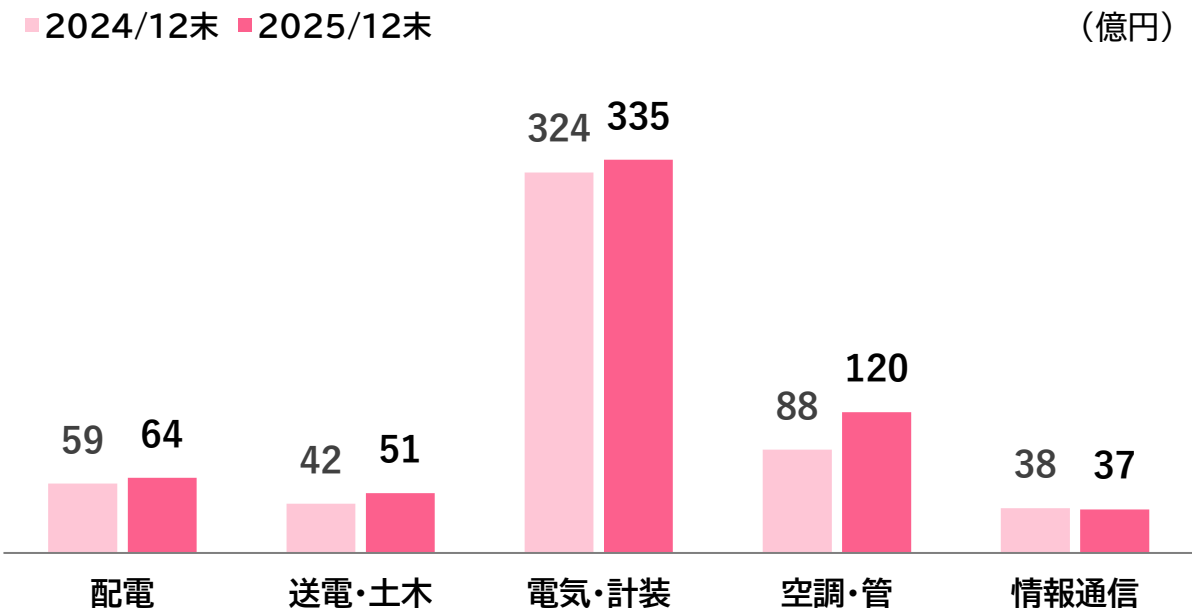
地域別売上高



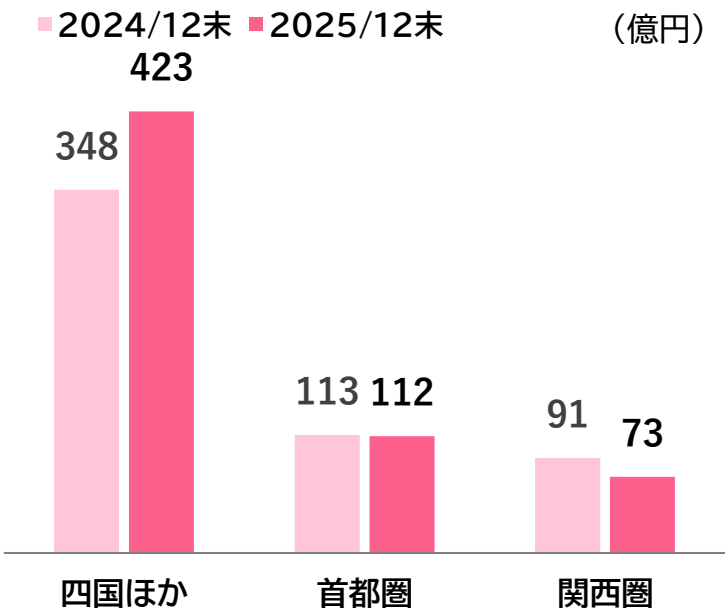
繰越工事高は、609億円であり、前年同期比+56億円増
▶過去最高の受注高が寄与

(億円)	2024年 12月末	2025年 12月末	前年同期比
繰越工事高	553	609	+56

工事種類別繰越工事高



地域別繰越工事高



(億円)		2025年3月末	2025年12月末	増減	主な増減要因
	流動資産	552	480	▲72	受取手形・完成工事未収入金等 ▲73
	固定資産	443	463	+19	
資産合計		996	943	▲53	
	流動負債	261	188	▲73	支払手形・工事未払金等 ▲52 未払法人税等 ▲5
	固定負債	85	80	▲5	
負債合計		347	268	▲78	
純資産合計※		648	674	+25	四半期純利益+40 その他の包括利益+16 配当 ▲31
負債純資産合計		996	943	▲53	

自己資本比率	65.1%	71.4%	+6.3	
--------	-------	-------	------	--

※ 純資産は、「非支配株主持分」を含む。

- I 2025年度第3四半期実績
- II 2025年度業績予想修正**
- III 配当予想修正(増配)
- IV 『中期経営指針2030』公表

- 通期の連結業績予想の各利益を上方修正
 - 工事進捗や工事減価の徹底管理に努めた結果、営業・経常利益はほぼ前期並み、純利益は増益予想

(億円)	連結					
	2025年度予想		増減額	増減率	2024年度実績	前年度比
	4月30日公表	今回修正				
売上高	1,000	1,000	0	0.0%	1,058	94.4%
営業利益	70	80	10	14.3%	80	99.1%
経常利益	75	85	10	13.3%	85	99.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	60	10	20.0%	51	116.0%
1株当たり※ 当期純利益	105.68円	126.82円	21.14円	—	109.46円	—

※ 当社は、2024年10月1日付で、普通株式1株を3株とする株式分割を行っている。1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定している。

■ 通期の単体業績予想についても、各利益を上方修正

(億円)	単体					
	2025年度予想		増減額	増減率	2024年度実績	前年度比
	4月30日公表	今回修正				
売上高	840	840	0	0.0%	941	89.3%
営業利益	50	57	7	14.0%	67	84.0%
経常利益	57	64	7	12.3%	72	88.3%
当期純利益	40	48	8	20.0%	47	100.8%
1株当たり※ 当期純利益	84.54円	101.45円	16.91円	—	100.74円	—

※ 当社は、2024年10月1日付で、普通株式1株を3株とする株式分割を行っている。1株当たり当期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定している。

- I 2025年度第3四半期実績
- II 2025年度業績予想修正
- III 配当予想修正(増配)**
- IV 『中期経営指針2030』公表

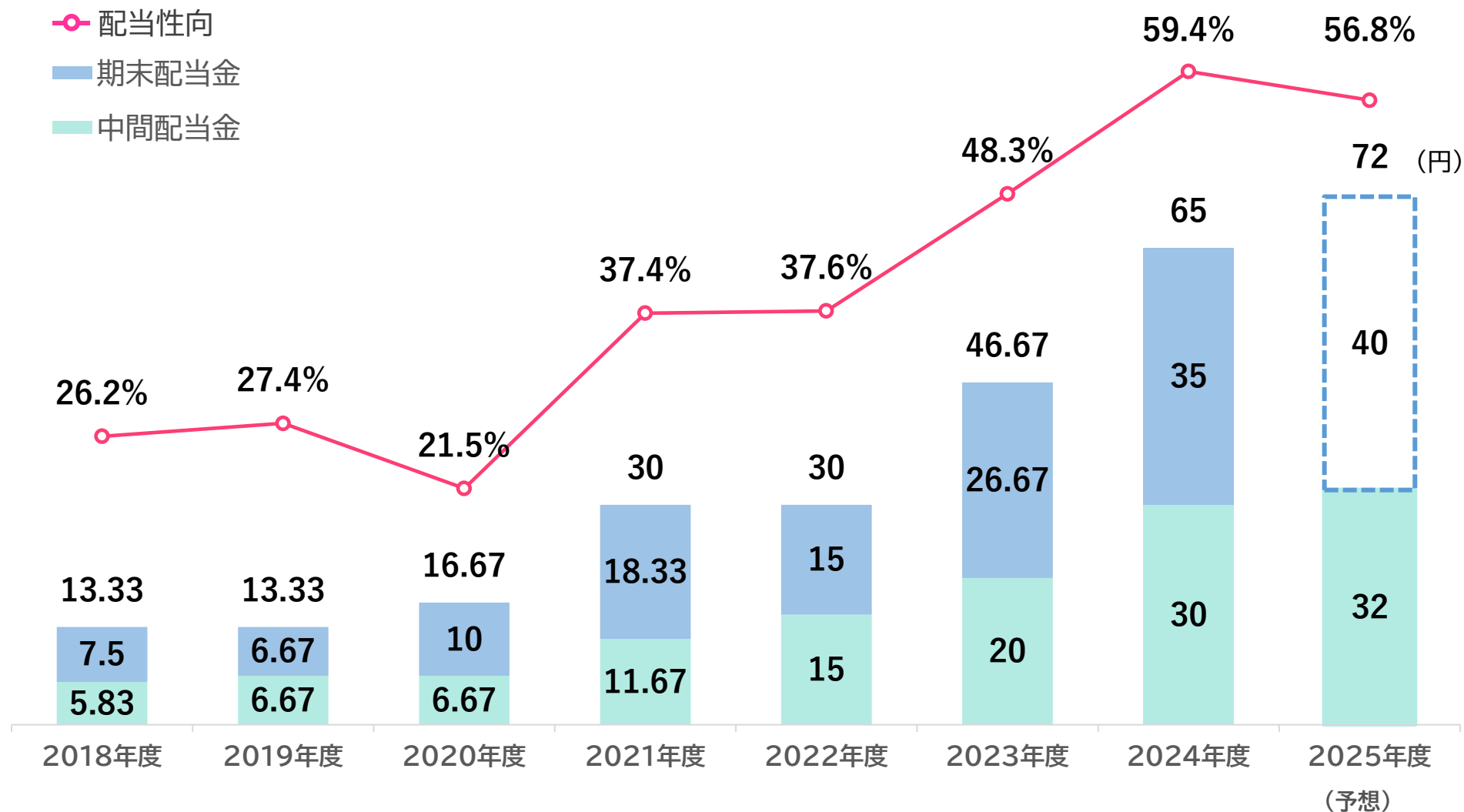
- 今回の当期業績予想の上方修正を踏まえ、資本収益性(ROE)の向上に取り組む方針に基づき、期末配当金を期初の予想から増額
 - ▶ 配当予想修正後の1株当たり年間配当金は、前期実績(株式分割後換算)比、7円増配相当

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想(2025年4月30日公表)	—	33円00銭	65円00銭
今回修正予想	—	40円00銭	72円00銭
当期実績	32円00銭	—	—
前期実績(2025年3月期) 【分割後換算】	90円00銭 【30円00銭】	35円00銭	— 【65円00銭】

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株を3株とする株式分割を行っている。
・前期(2025年3月期)の第2四半期末実績は株式分割前の実際の配当金の額を記載している。
・前期の1株当たり年間配当金については、株式分割の実施により単純計算ができないため表示していない。
なお、参考として分割後換算の配当金の額を【 】内に記載している。

配当の推移(分割後換算)

Ⅲ 配当予想修正(増配)



(注) 2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施し、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しているため、1株当たり配当金は現在の株式数に換算した金額を記載している。

- I 2025年度第3四半期実績
- II 2025年度業績予想修正
- III 配当予想修正(増配)
- IV 『中期経営指針2030』公表**

- 本日2026年1月30日付にて、新たな5カ年計画となる『中期経営指針2030』を公表
 - ▶ 2030年度 連結数値目標：売上高 1,200億円、営業利益 110億円、ROE 10.0%
 - ▶ 新たな株主還元方針：連結配当性向 60%程度・DOE 5.0%程度



新中計では、これまで継続的に拡充してきた施工力を有効に活用して首都圏・関西圏での収益基盤を拡充することで、将来の成長に繋げていくことを主要テーマに据えております。

併せて、人的資本の拡充・強化施策やDX投資を積極的に推進することで、人口減少社会にあっても施工収益性を維持・強化し、そうして得られた利益成長の成果については、資本収益性を向上させる観点も踏まえ、株主の皆様に適切に還元してまいります。

構成・主な内容

I . 経営理念、主たる事業領域

II . 『中期経営指針2025』の振り返り

- 連結数値目標
- 株価や資本収益性

III . 『中期経営指針2030』

- 重点テーマ
- 連結数値目標
- 事業拡大のイメージおよび戦略課題

IV . キャッシュ・アロケーション方針

- 人的資本投資
- 事業投資等
- 株主還元方針

詳細は、当社ウェブサイトからご覧ください。

<https://www.yondenko.co.jp/ir/>





今日を支え 明日を創る

四電工

お問い合わせ先

株式会社四電工 企画部

E-mail: hnikikaku@mail.yondenko.co.jp

本資料に記載されているデータや業績予想等、将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は種々の要因により異なる可能性があることをお含みおきください。